

医療安全情報 レポート

Vol.34

働くみんなの医療安全

患者確認はどうしていますか？ 確認したつもりになっていませんか？

コロナ感染の急増と共に「新しい生活様式」で過ごす機会が増加し、マスクの着用が当たり前の日常になりました。

マスクを着用することで相手の顔がわかりにくい、相手の言葉が聞き取りにくい状況が多発しています。そんなとき「患者確認」はどうしていますか。



例 診察の順番のため、患者の氏名を呼んだところ、立ち上がった患者が2名いましたが、近くにいた患者に「〇〇さんですね」と、声を掛けると頷いたため診察室に案内しました。
ところが診察前の患者確認で、同姓同名の別患者であったことがわかった。

患者確認の基本は**患者から「名乗ってもらうこと」**
そして、**確認する目的**も説明することが重要です。

人間の特性

見たいもの、聴きたいものそこだけに集中する特性があります。思い込み等。受診して待たされると、次は自分の番だとの期待が高まり、違う人の名前が呼ばれても、つい自分が呼ばれたと反応してしまうことがあります。皆さんはそのような経験はありませんか？

「確認のためにお名前をフルネームで教えてください。同姓同名の患者さんがいる可能性があるので、生年月日又は誕生日も教えてください」



外来だけではなく、調剤薬局でのお薬、入院中の処置等にも目的を持った確認



患者誤認防止のため
お名前をフルネームで
お伝え下さい

